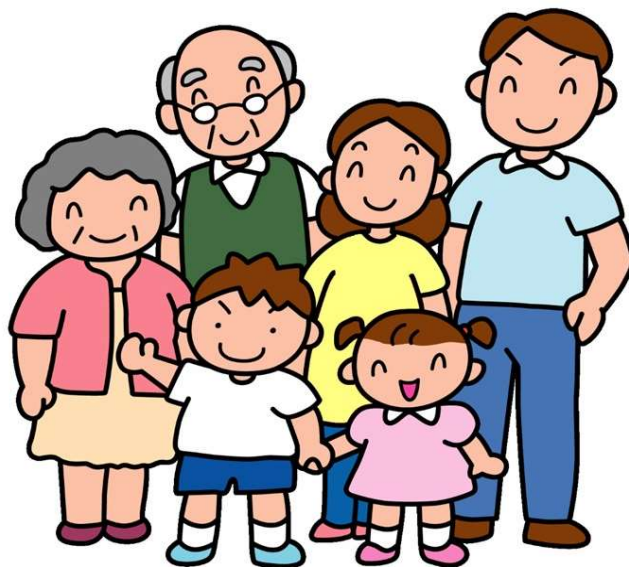


人権学習 DVD・VHSリスト



令和6年度版

令和6年4月現在





防府市教育委員会教育部
生涯学習課人権学習室

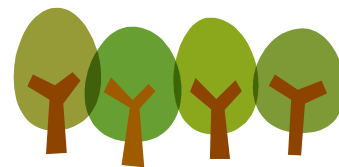
令和5年度購入DVD

主な課題	題名	時間	対象	内容	
人権全般	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見～職場のコミュニケーションのヒント～	24	一般	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうことがあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。自覚なくハラスメントの加害者にならないために…。職場のコミュニケーションを見直すきっかけとしてお役立てください。	
性同一性障害の問題	うしわかまるの自分らしく生きること	10	園児・児童	お花が大好きなカー太郎は、中吉にそのことをからかわれて傷つきます。「男の子なのに、僕って変なのかなあ。」無理して男の子らしく振る舞おうとしますが、野に咲く様々な花のように、人もみんな違っていいんだと気がつきます。	

令和5年度寄贈DVD

主な課題	題名	時間	対象	内容	
人権全般	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	36 13	一般	今、企業は自社事業に関わるすべての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。	
インターネットにおける問題	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	30	一般	インターネットは、私達の生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。このDVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象にインターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策についてわかりやすくまとめられています。	

※視聴覚教材借用申請書をリスト最終ページに添付しておりますので、ご利用ください。



	番号	題名	課題	対象	時間	購入年
あ 行	Dあ1	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	性同一性障害の問題	一般	30	H27
	Dあ2	あったけの勇氣	子どもの問題	一般	27	H20
	Dあ3	あなたに伝えたいこと	同和問題	一般	36	R3
	Dあ4	ALLY TEACHER'S TOOL KIT	全般	一般	40	R3
	Dい1	イマジネーション	全般	一般	34	H26
	Dい2	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	全般	一般	36、14	R5
	Dい3	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	インターネットにおける問題	一般	30	R5
	Dう1	うしわかまるの自分らしく生きること	全般 性同一性障害の問題	園児・児童	10	R5
	Dえ1	映像で学ぶ ジェンダー入門① 男らしさ/女らしさ	男女共同参画	一般	40	R3
	Dえ2	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組	性同一性障害の問題	一般	38	R3
か 行	Dか1	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	外国人問題	一般	33	H28
	Dか2	風の匂い	障害者問題	一般	34	H29
	Dか3	家庭の中の人権 生まれくる子へ	全般	一般	25	H29
	Dか4	家庭の中の人権 カラフル	全般 性同一性障害の問題	一般	31	H27
	Dき1	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	全般	一般	40	H30
	Dき2	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 -見えない虐待をしないために-	子どもの問題	一般	25	H23
	Dく1	クリアムバン	全般	一般	36	H23
	Dこ1	聲の形	障害者問題	一般	30	H29
	Dこ2	声を聴かせて	全般	中学生以上	40	H21
	Dこ3	ここから歩き始める	高齢者問題	一般	34	H28
	Dこ4	ココロ屋	全般	小学生	25	H26
	Dこ5	秋桜の咲く日	障害者問題	一般	34	H26
さ 行	Dさ1	サラマット～あなたの言葉で～	外国人問題	一般	36	R2
	Dし1	障害のある人とのふれあいと人権 -今まで声をかけられなかったあなたへ-	障害者問題	中学生以上	23	H22
	Dし2	人権のヒント職場編 気づきのためのエピソード集	全般	一般	22	H25
	Dし3	人権のヒント地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	全般	一般	25	H22
	Dし4	シェアしてみたらわかったこと	全般	一般	46	R2
	Dし5	知りたいあなたのこと	障害者の人権	一般	21	R2
	Dす1	すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～	全般	一般	35	H27
た 行	Dた1	探梅 ～春、遠からじ～	高齢者問題	一般	40	R3
	Dち1	地方公共団体におけるパワーハラスメント対策	全般	一般	32	R4
	Dと1	・同和問題～過去からの証言、未来への提言～ ・同和問題 未来に向けて	同和問題	一般	61 19	H26
	Dと2	同和問題と人権 -あなたはどうか考えますか-	同和問題	一般	28	H25
	Dと3	殿さまの茶わん	全般	小学生以上	16	H28
な 行	Dな1	名前・・・それは燃えるいのち	全般	小学生以上	18	H22
	Dに1	虹のきすな	全般	小学生以上	31	H24
	Dに2	「忍たま乱太郎」のがんばるしかないさシリーズ	子どもの問題	小学生（低学年）	30	H31
	Dね1	ねずみくんのきもち	子どもの問題	小学生	12	H28
	Dの1	典子は、今	障害者問題	小学生以上	117	H20
は 行	Dは1	・ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～ ・家族で考えるハンセン病	ハンセン病問題	一般	56 20	H27
	Dは2	ハンセン病を正しく理解するために ～ふる里、山口へ帰りたい しかし帰れなかった～	ハンセン病問題	一般	29	H21
	Dは3	ハラスメントを生まないコミュニケーション	全般	一般	25	R2
	Dは4-1	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	ハンセン病問題	一般	34	R3
	Dは4-2	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	ハンセン病問題	一般	34	R3
	Dは5	～家庭からふりかえる人権～ 話せてよかった	全般	一般	25	R4
	Dは6	ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見 アンコンシャス・バイアス	全般	一般	24	R5
	Dひ1	ひとみ輝くとき	子どもの問題	中学生以上	35	H21
	Dひ2	ヒーロー	全般	一般	34	R1
	Dほ1	ボクとガク ～あの夏のものごとがたり～	全般	一般	42	H27
	Dほ2	ほんとうの空	全般	一般	34	H25
ま 行	Dみ1	見上げた青い空	子どもの問題	中学生以上	34	H25
	Dみ2	未来への虹-ぼくのおじさんは、ハンセン病-	ハンセン病問題	小学生以上	30	H19
	Dみ3	未来を拓く5つの扉～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	全般	中学生以上	46	H27
	Dめ1	めぐみ	拉致問題	小学生以上	25	H20
や 行	Dも1	桃香の自由帳	全般	一般	36	H24
	Dゆ1	夢のつづき(アニメ)	高齢者問題	中学生以上	40	H21
わ 行	Dわ1	わたしたちが伝えたい、大切なこと-アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品-	全般	中学生以上	31	H29
	Dわ2	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	全般	一般	35	H31

人権学習DVDリスト（50音順）

令和6年4月 現在

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
性同一性障害の問題	あなたがあなたらしく生きるために～性的マイノリティと人権～	30	一般	性・セクシュアリティの多様性について、しっかり理解している人はごくわずかだろう。そのために、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じている。誰もがありのままを受け入れられ自分らしく生きていける社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要がある。 ドラマや解説を交えて、性的マイノリティについての理解を深めるための人権啓発教材。	H27
同和問題	あなたに伝えたいこと	36	一般	「インターネット時代における同和問題」がテーマ。主人公はごく普通の若い女性。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などのかかわりを通して、ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知ることが、差別をなくしていくために重要であることを伝えます。	R3
子どもの問題	ありったけの勇気	27	一般	運動の苦手な美紀にドッジボールで負けたことから、千恵子のいじめが始まる。美紀をかばっていじめに一人で立ち向かう真由美。親友の直子は一歩踏み出す勇気が出なかったが、先生や両親のアドバイスを受け、少しずつ、元気と勇気を取り戻していく。友だちとの関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いを認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを伝える作品。	H20
全般	ALLY TEACHER'S TOOL KIT	40	一般	セクシュアルマイノリティの子どもにとってもすぐしやすい学校をつくる「アライ先生」となり、子どもたちに多様な性についての情報を発信するためのeラーニング教材。 アライとは、LGBT理解者・支援者のこと。子どもたちに「あなたの味方だよ」「あなたのままで大丈夫だよ」としてくれる先生が身近にいることで、ありのまま大人になれる子どもたちがたくさんいます。（R3年寄贈）	R3 寄贈
全般	imagination ～想う つながる 一歩ふみだす～	34	中学生以上	舞台は小さなラジオ局。様々な人が番組を聞きながら、心を通わせ明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材。 ・いじめをなくすのはアナタ（子どもの問題） ・「関わらないのが一番」それ本当？（同和問題） ・見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと（障害者問題）	R2
全般	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応	36 13	一般	今、企業は自社事業に関わるすべての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。 企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。	R5 寄贈
インターネットにおける問題	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	30	一般	インターネットは、私達の生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけではなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。このDVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象にインターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策についてわかりやすくまとめられています。	R5 寄贈
性同一性障害の問題	うしわかまるの自分らしく生きること	10	園児・児童	お花が大好きなカー太郎は、中吉にそのことをからかわれて傷つきます。「男の子なのに、僕って変なのかなあ。」無理して男の子らしく振る舞おうとしますが、野に咲く様々な花のように、人もみんな違っていいんだと気がつきます。	R5
性同一性障害の問題	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組	38	一般	LGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関りにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介し、教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	R3

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
外国人問題	外国人と人権 ～違いを認め 共に生きる～	33	一般	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考える。 外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶ。	H28
障害者問題	風の匂い	34	一般	スーパーマーケットで働く青年、歩と正人。歩には知的障害があったが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」だった。しかし、大人になった二人を隔てたのは健常者と障害者という壁であった。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなる作品である。	H29
全般	家庭の中の人権 ～生まれ来る子へ～	25	一般	人は皆、幸せになるために生きている。その一方で、誰かを傷つけ、排除し幸せになる権利を侵害している。それは家族の間でも例外ではない。 このドラマでは「家庭の中の人権」に目をむけ、家族で人権の尊さについて語り合い、気づくこと、そして行動することの大切さを描いた。	H29
全般	家庭の中の人権 ～カラフル～	31	一般	「人権の問題は人間の問題」両親と人生の樂立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、結婚、就職、LGBT等の人権課題を取り上げ、人権に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとなる作品。	H27
全般	企業と人権 ～職場から作る 人権尊重社会～	40	一般	近年、差別に関わる様々な問題が社会の注目を集めている。「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わることから、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきている。このDVDは企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成している。 1. 企業にとって人権とは 2. ハラスメント 3. LGBTに対する偏見差別 4. 障害のある人に対する差別・偏見 5. 外国人に対する差別・偏見 6. えせ同和行為	H29
子どもの問題	虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 ～見えない虐待を しないために～	25	一般	実例を基にした3つのドラマ 事例1:エゴの押し付け 事例2:養育への不安と孤立 事例3:過干渉としつけへの思い込み これをもとに、幼児・児童虐待の問題点と虐待を防ぐ対応法を分かりやすく紹介している。	H23
全般	クリームパン	36	一般	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴える。人を傷つけ、いのちを奪うのも「人」ならば、傷つき、死に瀕している人のいのちを救うのもまた「人」だ。人と人が出会い、つながっていく「いのちの物語」が1つのクリームパンから始まる。	H23
障害者問題	聲の形	30	一般	将也のクラスに聴覚障害者の硝子が転校してきた。当初は硝子の事を好意的に受け入れていた将也やクラスメイト達だったが、コミュニケーションの難しさから徐々にストレスを感じるようになる。そして合唱祭の入賞を逃した事をきっかけに、硝子はいじめの標的になってしまう。そんなある日、最悪の事件が起こる・・・。 いじめや障害者との共生などの難しい課題を扱った、マンガ「聲の形」を原作として、人権学習教材としてのテーマを付加したドラマ形式の作品。	H29
全般	声を聴かせて (アニメ)	40	中学生以上	携帯電話は、もはや単なる電話機ではない。メール、インターネットなど様々な機能を持つようになり、大変便利な道具となった。しかし、この携帯を子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちをおくことを意味するのか。私たちはこの現実はどう向き合っていけばいいのか、考えることができる作品である。そして、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げ、改めて認識を深めることができる。	H21
高齢者問題	ここから歩き始める	34	一般	認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤ときずなのおしを描くことで、高齢者が人間として誇りをもって生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなる作品である。	H28

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
全般	ココロ屋 (アニメ)	25	小学生	主人公ひろきは、友だちとケンカをしてしまい、先生に「心を入れ替えなさい」と言われてしまう。うまくいかない自分の心を持って余しているひろきの前に現れたのは、いろいろな心に取り替えてくれる「ココロ屋」だった。主人公が自分にふさわしい心を見つけ、心を育てていこうとする過程を描いている。	H26
障害者問題	秋桜の咲く日	34	一般	「目に見えにくい違い」の一つである発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝える作品である。	H26
外国人問題	サラーマット ～あなたの言葉で～	36	一般	珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考えをもつミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気付かされ「違い」は様々な問題解決の糸口になることを学んでいきます。「SNS時代における外国人の人権」をテーマに据えた人権啓発ドラマです。	R2
全般	シェアしてみたらわかったこと	46	一般	東京のどこかにあるシェアハウス。ここは、年齢も社会的立場も異なる人たちが同じ屋根の下暮らしている。就職のため上京してきた主人公が、個性的な住人たちとの交流を通して成長していきます。	R2
障害者問題	障害のある人との ふれあいと人権 ～今まで声をかけられなかったあなたへ～	23	中学生以上	街で障害者に会ったとき、どのように行動したらよいのかを、 ①「目の不自由な人と会った場合」 ②「耳の不自由な人と会った場合」 ③「車いすの人と会った場合」 の3つの実際の場面を見ながら考えていく。障害者自身の言葉で、どう関わってほしいかを伝え、障害者が社会参加するために自分たちに何ができるかを考えるきっかけとなる作品。	H22
障害者の人権	知りたいあなたのこと 外見からは分からない 障害・病気を抱える人	21	一般	外見からは分からない障害や病気を抱えながら日常生活を送っている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が周囲に理解されず、辛い思いをすることもありますが。どんな場面で困っているのか、どんな配慮が求められているのか、私たちにできる配慮を共に考えていく内容です。	R2
全般	人権のヒント 職場編 ～気づきのための エピソード集～	22	一般	ごく普通の会社員の日常をドラマ形式で描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探っていく。職場の中で私たちが考えるべき人権問題（セクハラ、パワハラ、障がい者との共生、同和問題）について提起する。	H25
全般	人権のヒント 地域編 ～「思い込み」から 「思いやり」へ～	25	一般	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく。	H22
全般	すべての人々の 幸せを願って ～国際的視点から 考える人権～	35	一般	国際連合創設70周年を記念して、世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権課題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、女性、子ども、障害者、外国人の4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例などで紹介する。	H27
高齢者問題	探梅 ～春、遠からじ～	40	一般	人は誰しも心の中に四季をもっています。家族や地域から孤立したり、支援や見守りが必要な人は、「心の冬」を感じているのかもしれませんが。それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守り合う地域社会の大切さを語りかけます。	R3
全般	地方公共団体におけるパ ワーハラスメント対策	32	一般	誰もが働きやすい職場を目指す、地方公共団体におけるパワーハラスメント対策。 (R4年寄贈)	R4 寄贈

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
同和問題	同和問題 ～過去からの証言 未来への提言～ (61分) 同和問題未来に向けて (19分)	80	一般	①同和問題～過去からの証言、未来への提言～ 我が国固有の同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめられた、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発担当者向けの映像資料。 ②同和問題 未来に向けて 同和問題に焦点を当て、関係者の証言や解説を交えてわかりやすくまとめられたドラマ形式の一般向け映像教材。	H26
同和問題	同和問題と人権 ～あなたはどうか 考えますか～ (アニメ)	28	一般	会社でセクハラなどの人権問題を担当する大月友一は、両親の体験を聞き、部落差別、同和問題について知識を深めていく…。同和問題について考えるアニメーション作品である。	H25
全般	殿さまの茶わん (アニメ)	16	小学生以上	昔、ある国の有名な陶器師が殿さまの茶わんを作る事になりました。それは美しく上品な、軽くて薄手な茶わんが出来上がりました。茶わんが重くて厚手のは品が無いと云うのです。殿さまは食事のたびに手が焼けるような熱さを我慢しなければなりません。ある日、旅で立ち寄った百姓家で名も無い職人の作った厚手の茶わんに出会った時、殿さまはほっとするのです。いくら有名な陶器師でも親切心が無いと何の役にも立たない。親切心とは何かを問いかけるお話です。	H28
全般	名前・・・それは 燃えるいのち (アニメ)	18	小学生以上	ひとりにひとつ、誰もが持っている名前。自分の名前、友だちの名前・・・名前に込められた思いに気づいたとき、ひとりひとりの命の大切さ、ひとりひとりの違いの素晴らしさが見えてきました。ひとりにひとつ。誰もがもっている「名前」をテーマに、一人ひとりの違いの素晴らしさを訴えるアニメ。	H22
全般	虹のきずな (アニメ)	31	小学生以上	大学生のひかりは、小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしているが、人付き合いが苦手。中国から来た男の子ワン・タオロンも、クラスメートになじめず、いじめられるようになった。ある絵本を通して、互いの違いを認め合うことの大切さを知り、一歩を踏み出す勇気をもたらした二人は…。風評被害を防ぎ、傍観者から脱却し、みんなで力を合わせることの大切さを訴える作品。	H24
子どもの問題	忍たま乱太郎の がんばるしかないさ シリーズ	10 × 3	小学校低学年	第1巻 よいと思うことをおこなう 第2巻 あたたい心でしんせつにする 第3巻 きまりを守って協力しあう	H31
子どもの問題	ねずみくんのきもち (アニメ)	12	小学生	相手のことを大切に思う心、思いやりが大切なこと。みんな助け合って生きているということ。みんな違うからいいんだということ。みんな本当は、すばらしいところを持っているということ。一人ひとりが大切な存在であるということに気づき、共に生きていることを感じられる作品です。	H28
障害者問題	典子は、今	117	一般	昭和37年、典子はサリドマイドの影響を受けた身体で誕生した。母は運命を嘆いたが、失われた両腕を悔やむより、残された身体で何が出来るのかを考えようと立ち上がった。ひとはみんな、それぞれの今を生きている。これは典子さんについての、みんなの物語。	H21
全般	～家庭からふりかえる人 権～ 話せてよかった	27	一般	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、コミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権感覚を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけになるDVDです。	R4
全般	ハラスメントの裏に潜む 無意識の偏見 ～職場のコミュニケーションのヒント～	24	一般	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまふことがあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。自覚なくハラスメントの加害者にならないために…。職場のコミュニケーションを見直すきっかけとしてお役立てください。	R5

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
全般	ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える	25	一般	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はあります。もしかしたら、普段の何気ない言動が、知らない間にハラスメントになっているかもしれません。ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すればよいのでしょうか。様々な事例を基に、それぞれの立場や考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションの在り方を考えていきます。	R2
ハンセン病問題	ハンセン病問題 ～過去からの証言、 未来への提言～ (56分) 家族で考えるハンセン病 (20分)	76	一般	1.ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～ ハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめられた、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発担当者向けの映像資料。 2.家族で考えるハンセン病 ハンセン病問題に焦点を当て、関係者の証言や解説を交えてわかりやすくまとめられたドラマ形式の一般向け映像教材。	H27
ハンセン病問題	ハンセン病を正しく理解するために ～ふる里、山口へ帰りたいしかし帰れなかった～	29	一般	ハンセン病にかかった人々は、強制収容・隔離などの国の誤った政策によって1世紀にわたり多くの偏見と差別に苦しんできた。その一因でもある「らい予防法」が廃止された今でも、いわれのない偏見や差別は根強く残っている。ハンセン病に関する歴史や現状を知ること、私たちにできることは何なのかを考える。	H21
ハンセン病問題	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	35	一般	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	R3
子どもの問題	ひとみ輝くとき	35	中学生以上	子どもの世界に起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成ができることを願い制作された作品である。	H21
全般	ヒーロー	34	一般	主人公の行男は、働き盛りのサラリーマン。地域社会と縁をもたなかった行男があるきっかけから地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていく。そうした体験の中で、自分の家族との絆も深めていく。 「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらえるような作品である。	R1
全般	ボクとガク ～あの夏のものごと～ (アニメ)	42	一般	子どもは、「守られる」だけでなく、権利の主体として社会に参加し、意見を表明する権利があります。この映画では、希望（のぞみ）と岳（がく）という2人の子どもと近所のおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権と地域で育む人権文化に目を向けるとともに、次代に語り継ぐものとして「戦争と平和」についても描いた作品です。	H27
全般	ほんとの空	36	一般	主人公の弓枝の心を揺さぶったのは、息子である輝の友達を思う純粋な気持ちと、同じ集合住宅に他国から引っ越してきた隣人。 誤解や偏見に気づき、人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと。全ての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常行動につなげてもらうことができる作品である。	R2
子どもの問題	見上げた青い空	34	中学生以上	学校におけるいじめ問題のドラマ。インターネットや携帯電話を使った陰湿ないじめ。一瞬にして、いじめる側といじめられる側が入れ替わるなどさまざまな問題がとりあげられている。この作品には、ドラマに登場した役者がそれぞれの立場で語るパートもあり、いじめ問題を解決するためのヒントが盛り込まれている。	H25
ハンセン病問題	未来への虹 ～ぼくのおじさんは、 ハンセン病～ (アニメ)	30	小学生以上	ハンセン病元患者の平沢保治さんをモデルにして書かれた子ども向けの本(僕のおじさんは、ハンセン病ー平沢保治物語ー)をもとに作成された作品。平沢さんは、この作品の中で、これからの未来を担う子どもたちに、差別の痛みや苦しみを、帰りたくても帰れないふるさとへの想い、そして「人権」の大切さを語りかけている。	H19

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
全般	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生 人権作文コンテスト 入賞作品朗読集～	46	中学生以上	「全国中学生人権作文コンテスト」では、次代を担う中学生が、身の回りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えている。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介する。 1 『本当の国際化とは』 2 『立ち止まる』 3 『絆』 4 『電車内に咲いた、笑顔の花』 5 『NO! と言える強い心をもつ』	H27
拉致問題	めぐみ (アニメ)	25	小学生以上	昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメ。	H20
全般	桃香の自由帳	36	一般	近年、社会の進展に伴って、物質的に豊かになり、価値観やライフスタイルも多様化してきている。一方、地域社会においては、人々の集う機会が減少し、互いにふれあい支え合うことが少なくなるなど、人間関係が希薄になっている。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけている。	H24
高齢者問題	夢のつづき (アニメ)	40	中学生以上	家族の中で、疎外感を抱く高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な若者らが、世代の異なる者とふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができる様子を描いた作品。この作品を通して、高齢者の尊厳を守り、だれもが最後まで自分らしく生きることができる社会を実現するためにはどうしたらよいかを考えることができる。	H21
全般	わたしたちが伝えたい大切なこと ～アニメで見る 全国中学生人権作文 コンテスト入賞作品～	31	中学生以上	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作された短編アニメーション3作品。 ・小さい頃から差別を受けてきたハーフの中学生が差別に立ち向かう勇気を得る経緯。 ・事故で右手を失った父との暮らしの中で気づく大切なこと。 ・視覚障害のある人権学習講師との出会いで変わっていく障害者についての考え方。 どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気づきのプロセスを描いている。	H29
全般	わっかカフェへようこそ	35	一般	町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな人が訪れます。出会った人と人が、言葉を交わし心を通わせ、互いに認め合い高めあうことができる…ここはそんなココロまじわるよりどころ…ようこそわっかカフェへ	H31

人権学習VHSリスト（50音順）

令和6年4月 現在

主な課題	題名	時間	対象	内容	購入年
全般	あすに生きる	35	一般	厳しい競争の中で忘れられがちな企業内の人権問題（障害者、女性、リストラなど）を改めて考えてもらうことによって、企業の中での社員同士の人権や、企業が社員を大切にすることの重要性を訴えている。また、企業の社会的役割について、地域との交流やユニバーサルデザイン（障害の有無に関わらず、誰もが無理なく利用できる商品、サービス、設計など）を通して人権を再認識してもらうこともねらいとしている。	H14
同和問題	新しい世紀に向けて ～同和行政 ～特別対策から ～一般対策へ～	28	一般	(財)人権教育啓発推進センター理事長の宮崎繁樹氏と西日本新聞社顧問の稲積謙次郎氏をゲストに迎えて、これまでの同和対策事業の変遷と、これからの同和行政について解説する研修ビデオ。	H11
同和問題	雨あがり	55	一般	金融破綻が相次ぐ情勢の中で、銀行に勤める若者が同和問題に直面し、上司の間違った考え方を正していく人権啓発映画です。	H11
障害者問題	生きてます、15歳 (アニメ)	22	小学生	美由紀は僅か500グラムという未熟児で生まれ、未熟児網膜症のため、視力を失った。母・美智子にとって美由紀はたった一人の家族。美由紀の自立を想い、いろいろなものをさわって教える一人である。いろいろなことができるように、見守って育てた。15歳に成長した美由紀は、弁論大会で母の想いを語る。親と子のあり方や障害者の立場になって障害者問題を考えることができる作品である。	H20
子どもの問題	いじめ・親として	30	一般	いじめを受けている我が子の現状に正面から向き合う親の基本姿勢を示唆している。親としての対応の仕方や、子どもに対する接し方を教育カウンセラーの早稲田大学・菅野純教授が解説していく。	H12
子どもの問題	いじめゼロをめざして ～家庭と学校の連携～	30	一般	「お父さん、お母さん、先生、子どもたちの心の叫びが届いていますか。」いじめ根絶には、日常の中で悩みを持った子どものSOSを速やかにキャッチし、対応することである。いじめにあった少女のドラマを通して、家庭と学校の連携の重要性を訴えている。	H9
外国人問題	いつの日にか ～私たちって なんなの～	22	高学年以上	数多くの外国人が日本に住居している現代社会において、文化や風習、習慣などの違いからいろいろな問題がおきている。この作品は、そういった問題点をドラマ化し、こういった場合どう対処したらよいかを考えていただくためのビデオである。	H14
障害者問題	いつもこころに ほほえみを (ビデオ絵本)	24	小学生以上	絵本の手法を映像に用い、3つの暮らしの中の小さなドラマを通して、子どもたちに障害に対する正しい理解や命の大切さ、戦争の愚かさや平和の大切さを伝える作品。視聴後に、人として生き合うことの大切さを、大人と子どもで話し合い、考えてみたい作品である。	H16
全般	いのち輝く灯 (アニメ)	48	一般	人生の途中で障害をもつ身となった奈津子とその恋人の雅人、そして盲目の老人、昭吉との関わりや家族を含めた周りの人々との関係を通して、「人権」とは何かを問いかけ、何故、人が人の人権を無視し差別するのか、また人が生きていく上で大切なものとは何かを見る人に投げかけている。	H12
子どもの問題	いのちの輝き ～私たちの 自由って何?～	26	一般	この作品は、子どものいじめと親の放任によるネグレクトをメインに、子どもにとっての自由とは何かをドラマ化し、こういった場合どう対処したらよいかを討議していただくために制作されたものだ。様々なシーンから子どもの人権問題について考えてみて欲しい。	H14
子どもの問題	いのち輝くとき	30	一般	最近、深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に、地域社会から孤立している核家族の親が現代社会や家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか…！その親と子を救うには、近隣の人々の温かい心と地域社会の支えが必要ではないのでしょうか…！	H14

全般	With・・・若き女性 美術家の生涯	60	一般	「美術作家であることを、世の中での自分の使命にしたかった」と志した主人公が、貧困化で生きる人々と日々ふれあうことで、社会の矛盾に苦しみながらも成長していく。そのみずみずしい姿を通して、自分の「生きる意味」について考えさせられる作品である。ドキュメンタリー作品。	H16
同和問題	おーい	45	一般	同和問題に対する間違った知識や偏見、そして人々の無知・無関心が何世代にも渡っていわれのない差別を作り続け、多くの人の心を傷つけてきた。差別は、誰にとっても無関係ではないことを一人のサラリーマンの目をとおして描く。	H10
同和問題	贈られた湯飲み茶わん	48	一般	陶芸家を志す青年が阪神大震災で被災した老女に贈ったひとつの湯のみ茶わん。そこから生まれたドラマの中で、青年が自らの持つ差別意識に気づき、それを改め、真の人間関係を築いていく過程を、美しい丹波の風景の中で描いている。	H9
全般	おじいちゃんのトマト (アニメ)	39	一般	一人の中学生のまわりで起こる様々な人権問題を通して、どのように悩み、考え、そして行動していったかを描いたアニメーション。人は一人ひとり違うことを認識したうえで、相手の気持ちを思いやり、共に悩み、考え、生きることを喜び合える、そんな「共に生きる」ことの大切さについて考えさせる作品である。	H10
障害者問題	おじいちゃんの花火 (アニメ)	25	中学生以上	今日の社会には同和問題をはじめ様々な人権問題が存在している。これらの問題の解決のためには違いを認め合い、差別をしない・許さないという考え方が重要である。この作品を通して、人と人のつながりを大切にし、一人ひとりの人権が尊重される社会づくりについて考えてみたい。交通事故で両親を失い、自分自身も障害を持つようになった女子中学生が、未だ会ったことのない花火職人の祖父に会いに出る冒険と、それを助けるメール友達や介助犬の活躍を、美しい隅田川の花火とともに描いている。	H14
全般	鬼の子とゆきうさぎ (アニメ)	22	小学生	違う環境で暮らしてきた鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の物語の中から、やさしさや、思いやりの心、家族のぬくもりがゆっくり伝わってくる作品である。	H16
同和問題	おばあちゃん ありがとう	52	一般	差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。そんなおばあちゃんの生き方から人間として共に生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周囲の人々が、それぞれに新たな生活へと旅立っていく。差別の現実に向き合い、支え合う中で、互いに理解し合いながら、差別のない家庭・地域をつくる実践のあり方を示唆し訴えようとするものである。	H12
同和問題	おはようの音が 響く街に	35	一般	差別を受けながらも、希望を見だし、それを乗り越えて力強く生きる三世代の家族。一方、差別をしてはならないことと知りながら、世間体にとだわる両親の心を正していく高校生。その二つの家族の葛藤から人権問題を考える。	H14
同和問題	風かよう道	35	一般	古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起しながら、同和問題と今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開している。	H13
同和問題	風と大地と梨の木と 第1章 「故郷はひとつ」	45	一般	主人公の家族が互いの人権を尊重し合うことの大切さを様々な問題とぶつかりながら学んでいく。より多くの人たちが身近な事柄から人権を一步進んで学ぶ手がかりとなる。	H10
障害者問題	風と大地と梨の木と 第2章 「カナエの結婚」	40	一般	主人公の家族が互いの人権を尊重し合うことの大切さを様々な問題とぶつかりながら学んでいく。より多くの人たちが身近な事柄から人権を一步進んで学ぶ手がかりとなる。	H11
高齢者問題	風と大地と梨の木と 第3章 「老いのいきさき」	54	一般	主人公の家族が互いの人権を尊重し合うことの大切さを様々な問題とぶつかりあいながら学んでいく。より多くの人たちが身近な事柄から人権を一步進んで学ぶ手がかりとなる。	H12
外国人問題	風と大地と梨の木と 第4章 「WE ARE ONE」	51	高校生以上	テーマは、「外国人の人権」と「子どもの人権」。在日コリアンの人々に対する差別問題、子どもを取り巻く様々な人権問題など解決すべき問題は山積みである。国籍を通して二人の少年の葛藤を描く中で人権問題について考えることができる作品である。	H15

高齢者問題	家族のきずな ～三世代同居と私～	28	一般	お年寄りを抱える家庭では三世代家族が、どうしたら互にうまく暮らしていけるか模索しながら生活している。誰もが避けて通れない今日の問題を、ほほえましいドラマの中で掘り下げ、三世代同居のキーワードは温かい心配りであることを訴えている。	H9
全般	仮免許 練習中	30	一般	息子の交通事故をきっかけに自尊感情を失った親子が、自らの「誇り」を取り戻す過程を描いている。そして、その過程の中で、考え、悩み、変容していく姿を通して人権意識を高め、視聴者の生きる活力を呼び起こす作品。	H17
障害者問題	がんばれ まあちゃん	48	中学生以上	生まれつき耳が聞こえず、話もできない5歳のまあちゃんが、障害にぶつかりながら温かな家族に見守られて成長していく姿を、姉・かよの目を通して描く感動のドラマ。	H9
障害者問題	きいちゃん 私生まれてきて よかった (アニメ)	21	高学年以上	原作者の実体験を基に描かれた作品である。主人公(きいちゃん)は、身体に障害があっても、前向きにひたむきに生きている。好きなことを見つけてそれを生涯の仕事にすること、懸命になって一つのことをやり遂げること。どちらも人として生きていく原点かもしれない。全ての人の人権が尊重される社会とはどういうことかということを考えてみたい作品である。	H15
子どもの問題	きずだらけのりんご (アニメ)	23	小学生	人間に化けてだました女の子と友だちになっていたいたずらタヌキのゲンタ。すっかり人間だと信じられ友だちとして楽しい日々が続くが、嘘をついているのに耐えられなくなってくる。「うそ!」と言えたら、どんなに楽なことか…。そんなある日、嘘を隠そうとして大変なことに…。悩むゲンタが取った結論は?	H18
全般	きつねのかんちがい (アニメ)	28	小学生	私たちのまわりには「かんちがい」や「思い込み」、「決めつけ」などによって、敵対したり憎しみをつのらせたりして、相手を傷つけ、苦しめたりすることがある。心の優しい惣五郎ときつねたちの間にはどんな「かんちがい」があったのであろうか。	H9
全般	希望の春	54	一般	高校進学を断念してバイクで遊び回っていた伸一と、難病を抱え死と直面しながら希望を失わず周囲の期待に応えている隆志の友情と心の成長、そしてふたりを支える院内学級の教師・真由美とのふれあいを描く。人とのかかわり方を見つめなおすことができる。	H13
子どもの問題	きまりのないくに (アニメ)	16	小学生	子どもの中には、「他の子どもたちとコミュニケーションが取れない」「自分の気に入ったことだけをする」といった子どもがいる。この教材を通して子どもたちに、友達との遊びや生活の中で決まりを守ることが楽しい生活につながることを感じてもらい、他者を意識し思いやる心を育んでもらうことをねらいとしている。	H14
子どもの問題	虐待から子どもたちを守るため	53	一般	児童虐待救済の状況をドラマとドキュメンタリーで紹介しながら、問題を潜在化・深刻化させないためには、当事者・その関係者だけではなく地域での連携が不可欠であることを描いた作品である。	H16
全般	雲が晴れた日	53	一般	祖母の介護の問題に直面したある家族が、高齢者、女性、障害者、外国人、同和地区住民だからといった様々な差別に気づき、それを克服し、助け合っていこうとする姿を描いている。	H11
子どもの問題	くもりのち晴れ (アニメ)	40	小学生	いじめのために言葉を失った一人の少女の話を中心に、先生を中心にクラス全員が学び成長した実践の記録をアニメ化したものである。	H10
子どもの問題	クレヨンの星 (アニメ)	14	小学生	「えらい」という価値観をもたず仲良く暮らしていたクレヨンの星に、まじりつけのないものが「えらい」という価値観が持ち込まれたことによって、クレヨンたちの間に争いが起こってしまう…。絵本のように視聴できる作品。	H8
全般	こぎつねのおくりもの (アニメ)	30	小学生	3つの小さな可愛いお地蔵さまに化けた三匹の子狐と戦争で家族を亡くしたおばあさんとの、ほのほのとしたあたたかい感動のアニメーション映画。	H13
同和問題	こころの架け橋	50	一般	大自然を背景に、森とともに生きる人々のたくましさを描きながら、山の作業員と森林組合で働く都会育ちの青年との交流を中心に、彼らを取り巻く人々の心模様を描いている。親子の問題を基調として、人と人との理解し、支え合い、ともに生きることの素晴らしさを訴えている。	H11

全般	こころの交響楽 (アニメ)	43	一般	小児科医・響子を中心に、親子の問題で心を閉ざす少年、子育てに悩む母親、失業中の夫など、様々な登場人物が、周りの人たちの優しさにより立ち直る。家族や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・命の尊さ」、「家族のあり方」などについて考えることのできる作品である。	H16
同和問題	心のどこかに	30	一般	一本の道をはさんで仲良く付き合っていた2家族の一方が、些細な事をきっかけに同和地区に住むもう一方の家族に対して、つい差別的な発言をしてしまう。人の心に潜む差別意識に問いかけ、同和教育に対する問題定義を試みる人権問題入門編として見れる作品。	H6
全般	心のメガネ 曇ってませんか？	20	一般	日常生活の中に見られるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれをなくしていけるのかを、5つの生活場面から問いかけている。	H13
全般	この空の下で (アニメ)	42	一般	ある夫婦が町内会長の役を引き受けることによって、今まで気づかないで過ごしていた地域の人々の中にある心の壁、ひいては自分の心の壁に気づく。手探りでその心の壁を壊すために自分たちは何ができるだろうかと考えて、行動に移していく姿を描いている。地域に住む一人ひとりがお互いに協力し合いながら、誰もが暮らしやすいまちを創っていく大切さに気づくことができる。	H21
外国人問題	この街で暮りたい	32	小学生以上	近年、様々な国の外国人が日本で暮らすようになったが、言葉や宗教、文化や価値観の違いから、様々な人権問題が起こっている。この作品では、国際化が進む中で、お互いの違いを認め合い、共に生きていくことができる社会を築いていくことの大切さを伝えている。	H16
子どもの問題	ごめんね、ミーちゃん (アニメ)	12	幼保以上	「いのちの大切さ」そして「相手を思いやる気持ち」。そんな当たり前前のことが今、子どもたちの心から失われつつある。このアニメは分かりやすく心あたたまるストーリーの中で、どんな生きものにも尊いいのちがあること、それを大切にしていかなければならないのだということを、やさしく、そして力強く訴えかける。	H18
外国人問題	こんど逢うとき	55	一般	祖父母の故郷を訪ねて感動する日系3世の孫娘が、今なお日本に差別が残っていることに大きなショックを受ける。自分自身が人権問題の解決に向けてどう取り組むべきかを考えさせられる作品です。	H10
同和問題	残照の中で	55	一般	40年前、結婚差別ゆえに恋人のもとを去った大手企業会長の速水は、自己の人生検証のために故郷に戻る。美大生の繭子が、アルバイトとして速水の自伝執筆を手伝うことになるが、彼女が速水のかつての恋人に会ったことから速水の心は動揺する。そして、速水と恋人との再会…。同和問題を考えさせる、文学的な味わいの深い作品である。	H12
同和問題	サンセットサンライズ	49	一般	新しい時代感覚で民宿経営に取り組もうとしている女性の家族を舞台に、娘の危機を救ってくれた青年と姪の結婚問題をめぐって、その家族や周囲の人々が戸惑い、揺れ動く。自らの人権意識を見つめ直し、自立した生き方を身につけるとともに、積極的に周囲の人々に働きかけていく生き方が、差別のない明るい社会の創造につながることを訴える作品です。	H10
全般	シャッターチャンス (アニメ)	25	一般	サラリーマンの家庭に育った高校3年生が主人公。彼は自分の進路に悩んでいたが、下町で伝統工芸の職人をしている叔父や、タイ人の叔母、同和地区出身の写真家の生き方などに接し、自分の手で道を開いていこうと思うようになる。また、自分の価値観が正しいとかたくなに信じていた父親が、息子の進路問題に直面して、様々な生き方があることに気づく姿を描いている。	H12
全般	人権を考える 女性と子どもと母親	30	一般	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見のあることに気づく。同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、あらゆる差別と人権侵害をなくしていくことを訴える作品である。	H11
同和問題	新時代へのステップ ～同和行政の転換期～	29	一般	有識者4人を招いて、これまでの同和行政のあゆみと、同和問題の現状を紹介し、いまだ解決されていない心理的差別への対策について、これからどんなことが必要になるかを考える。	H12

子どもの問題	小学生の人権学習シリーズ 「人権」ってなんだろう	14	小学生	人権について学んだ子どもたちが、学校生活の中で気づいた問題について、「自分も大切、他人も大切」、「ふざけていたのも、いじめなの?」、「これって差別?」の3つのミニドラマで描いている。様々な問題に気づき、自分たちの問題ととらえ、その解決に向けて知恵を出し合い、行動することの大切さを子どもたちに訴える作品である。	H16
子どもの問題	小学生の人権学習シリーズ 「私の権利 みんなの権利」	14	高学年	放課後の校庭での遊びを禁止された子どもたちが、授業で習った「意思表示権」を思い出し、知恵を絞り大人たちとの話し合いに臨む。相手にも自分と同じ権利がある。お互いの権利を大切にしながら、なんとか自分たちの意見を伝えようとする姿をミニドラマに「子どもの権利条約」の学習を交えながら描いた作品である。	H16
男女共同参画	翔太のあした	54	一般	普段何気なく発せられる言葉や、一瞬の出来事について改めてその背景にある習慣や人々の意識、制度などについて話し合ってもらうための教材。学校、職場、家庭とそれぞれの場面で男女の意識の差を三部構成で描いている。	H13
男女共同参画	女性の人権を考える	25	一般	ドメスティック・バイオレンスの被害者や、セクシャル・ハラスメントの被害者の実際の体験を聞く中から、女性差別の根本にある意識について考え、自分たちの中にもこうした意識が根強く残っていないかを考えさせる。	H16
子どもの問題	しらんぷり (アニメ)	21	高学年	いじめと対峙した小学校6年生の少年の心の葛藤をリアルに描き出している。特に、少年の心の叫びが爆発するラストシーンは胸を打つ。「しらんぷりすることは、いじめに加わることで…」	H12
全般	人権に向き合うための 6つの素材	27	一般	ある家族の何気ない会話から人権問題を考えていく。ドメスティック・バイオレンス、高齢者の問題、障害者の問題、報道被害、感染症患者の問題等、ミニドラマと解説により誰もが人権をめぐる、どんな立場にも立つ可能性があることを考える。	H18
全般	人権入門 日常から考える 10のヒント	23	一般	45歳のサラリーマンの一日を通して人権を考えていく。常識、家族、セクハラ、男のくせに、長男、ことばの使い方等、ありふれた日常の中の人権問題について考えていく。	H18
全般	人権の扉をひらく 気づいてますか? 身近な人権	25	一般	・気づいてますか?「思い込み」の壁 ・気づいてますか?「差別」と「偏見」の背景 ・気づいてますか?パワー・ハラスメントと同調の被害 視聴後、各テーマについてディスカッションする素材として適している。	H17
男女共同参画	セクシュアル ハラスメント ～しないさせない 許さない～	24	一般	会社内でおこる、さまざまなケースのセクハラ(男性から女性、女性から男性、同性間)を具体的に描き、問題点を解説。セクハラは、受ける側の主観的な尺度が基準となること、相手の無言のNOというメッセージを受け取ることが大切であることを訴えている。	H20
男女共同参画	セクシュアル ハラスメントと 女性の人権	24	一般	「セクハラ」とはどのようなことなのか、具体的事例を示しながらその実態を明らかにする。また、なぜセクハラが起きるのか、セクハラを起こさないためにはどうすればよいか、セクハラにあったらどうすればよいかを職場を事例に考えさせていく。	H10
子どもの問題	セツちゃん	34	中学生以上	ある日、中学生の娘、加奈子が転校生で「セツちゃん」といういじめられている子の話を始めだした。運動会の日、父親は、セツちゃんが、娘自身のことだと気づき、立ちすくむ。親として、子どもにどう寄り添うか、そしていじめ問題の深刻さを描く。直木賞受賞「ビタミンF」より。	H18
同和問題	セピア色の風景	55	一般	14歳の淳の父・要三が、交通事故に遭った。頭を強く打って無意識の中で、「あのこと…、子どもたちに…」としぼりだすような声でつぶやく。父のことを知りたい、そんな気持ちになった淳は、父の本棚を整理していると、古ぼけた一枚のセピア色の写真を見つける。考えたあげく、母に黙ってセピア色の写真にある寺を捜しに京都へ旅立つ…。因習にとらわれることなく、事実を正しく認識することの大切さと日常生活の中での差別を見逃さず、前向きに生きていく人間のすばらしさを描いている。	H13
全般	善良な人々	56	一般	差別とは、特別な悪意にだけ根付くものではなく、だれもが日常の中の善意とと思っているものの中にも存在する。そのような視点から、平凡な日常の中の社会的な慣習の中から生まれる差別について三話オムニバス形式で描いた作品。	H16

外国人問題	外からみたわたしたち	27	一般	国の違いはあっても同じ地球に住む人間として… 日本に住んでいる外国の人たちは、わたしたちが「常識」としている日本の文化や習慣、そして制度に、戸惑いや違和感をいだいたり、また、自分たちに向けられる視線に差別性を感じ取っているかもしれない。外国の人たちから見た「わたしたち」を知ること、社会のもつ矛盾や人権問題を考え直すことができる作品である。	H19
外国人問題	トモダチ	31	中学生以上	主人公の女子大生と中国人の留学生、日本人の少年とベトナム人の少年との交流の中から、文化の多様性を知り尊重すること、そして一人の人間として様々な違いを乗り越えふれあうことの大切さを訴える。また、日本人が陥りがちな「相手の国によって態度を変える」「欧米にしか目を向けない」という誤った見方や偏見についても考えさせる教材ビデオである。	H14
子どもの問題	友だちアミーゴ (アニメ)	15	高学年	郷に従おうとする少年、従えずにくかん黙症になる少女、異なる文化のままに仲間に入ろうとする少年、それぞれの心の動きを追いながら、文化や風習を超えて、お互いが真の友人関係を築くまでを描いている。	H12
子どもの問題	どんぐり森へ (アニメ)	15	幼保	虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にも命があり、それは、たった一つしかなく、失うと二度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いている。	H12
子どもの問題	内藤剛志の 中学生トークライブ	30	中学生以上	第21回中学生人権作文コンテスト中央大会入賞者である二人の中学生が、それぞれの体験と人権についての考えを語る。それを聞き、スタジオに集まった中学生がそれぞれの考えを述べていく。聴覚障害者、ハンセン病問題を中心に真直ぐに人権を見つめている中学生の姿が心に響く。	H16
男女共同参画	何だろう？ 自分らしい生き方って ～男女平等を考える～	17	一般	普段はあまり意識されない「男は仕事、女は家庭」といった旧来の価値観も、男女の役割を逆転させてみると、その不自然さが際立ってくる。この作品は、「男女の役割の逆転」を導入するなど、男女平等という問題を、自分自身の問題として具体的に考えることができるように作られている。自分の将来の家庭生活や職業生活について考えたり、そこで男女平等をどう実現していくのか、そのためには何が必要なのかを示唆している。	H15
全般	二匹の猫と元気な家族 (アニメ)	25	小学生以上	神戸で大震災に出会ったある家族が東京に引っ越してきて、それぞれが新しい生活や、身近に起こるいじめや差別にとまどいながらも、それを乗り越えていく姿をユーモアとちょっぴりの涙で描いている。互いをよく知り、違いを認め合うことの意味を考える。	H11
同和問題	根っこのルール	37	一般	社会の中にはルールがあり、その中で最も重要で根っこのルールと言えるのが「人権」だ。このビデオでは同和問題を切り口に、いくつかのケースに分けて説明役と聞き役の掛け合いを通して「人権」について考えていく。	H10
同和問題	残された日記	56	一般	亡き母が残した日記を巡って、これまでの自分の生き方を一変させられる出会いへと歩んでいく夫。従順で控えめだったが、日記の中では自身が見いだした世界で「自由」を生きてきた妻。大切なものを失ってはじめてその存在の大きさと意味を受け止める人間の愚かさ、その反省を起点に人権意識が全ての垣根を越え真の幸せへの架け橋となることを、夫婦という形から提起している。	H14
子どもの問題	鉢かづき姫 (アニメ)	34	小学生	「14才になったら頭に鉢をかぶせよ」との観音様のお告げにより、鉢をかぶせられた初瀬は、「鉢かぶり、鉢かぶり」といっていじめられる。いじめと差別の中で、苦境にも負けない強い心を養う日本昔ばなし。	H13
同和問題	ハツエちゃんと ハーモニカ	53	一般	21世紀をまもなく迎えようとする今日、人権意識を高めることであらゆる差別をなくし、明るく住みよい社会の創造に向けて、一人ひとりがより積極的に参画することの必要性を結婚問題を題材として訴える。	H10
子どもの問題	はばたけ明日への瞳	51	小学生以上	どうしてよわい子をいじめるの…。いじめ問題を正面からとらえ、子ども達の心のやさしさと友情の美しさを綴る心あたたまる感動の物語。 情緒障害である為に「いじめ」を受ける少年。それを何とかしようと懸命な努力を重ねる担任の先生。そのことで、クラス一丸となって「いじめ」をなくしていく。	S61
犯罪被害者と家族	犯罪被害者の 人権を守るために	33	一般	犯罪被害者やその家族の人権の保護が、社会的に重要な課題となっている。被害者の現状を広く伝え、人権について、身近な問題として考えていく。	H17

ハンセン病問題	ハンセン病 剥奪された人権	25	中学生以上	<p>現在も国立のハンセン療養所に暮らす人々、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描いている。そして、現代に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問う作品である。</p>	H15
---------	------------------	----	-------	--	-----

障害者問題	一人ひとりの心は今！	34	一般	エセ同和行為に対して怯むことなく、一貫して毅然とした態度で拒否し、また、障害者問題を社内で行い、若くは社員たちの姿を描く感動の人権問題啓発ドラマである。	H15
全般	ヒューマンライツ・シンフォニー 辰日琢郎がご案内する 世界人権宣言と わが国の人権擁護機関	40	一般	世界中で基本的人権の基準となっている「世界人権宣言」の重要性、そして、我が国における人権を保障するために、様々な活動を行っている法務省の人権擁護機関の役割について紹介する。	H10
全般	防ごう！ パワーハラスメント	20	一般	どのような言動がパワハラに該当するのか、どうすれば防げるのかを、具体的な事例をあげて示している。自分の言動が相手にどう受け止められているのかよく考え、お互いの人格を認め合い信頼関係を築くことの大切さを訴えている。	H20
子どもの問題	プレゼント (アニメ)	17	中学年	小学4年生の綾香は、ささいなことからクラス中から仲間はずれにされてしまう。ただ一人、クラスで孤立している麻里だけが、綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまった…。子どもたちが、身近な問題であるいじめについて考えることにより、自分の人権の大切さと、自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づかせようとしている。	H17
全般	偏見の構図 ～いわれなき レッテル～	30	一般	痴漢による被害が続いた町内で様々な噂がささやかれ出した。その標的にされたのは…。勉強もでき、友の評判もよく、母思いだったのに、なぜ…。そうしたレッテルを貼る人の心の底にあるものを追求し、人権とは何かを考える。	H8
子どもの問題	ぼくだって きれいにしたいんだ (アニメ)	15	小学生	服装の汚れから、「すすけのマーヤン」とあだ名され、差別に苦しむ小学3年生の正夫の例をとりあげ、そうした差別の不当さに目を向けさせるばかりでなく、その差別行為に対して傍観的な周囲の児童の態度も問題にしながら、ひとりの問題を、みんなの問題として解決していくことの重要性を考えさせようとしている。	H9
全般	蛭の舞う街で (アニメ)	42	一般	2つの家族の交流を中心に物語を展開し、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思っていることの中にも様々な人権問題が潜んでいることやお互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯などの問題をなげかけている。人と人との関わりの中で、「自分らしく光る」とはどういうことなのかを考えさせられる作品である。	H11
子どもの問題	負けるな千太 (アニメ)	24	小学生	弱いものへの慈しみや命の尊さを基本に、誰の心にもいじめ虫がいること、いじめという行為がいかに醜く、無益であるかを描いている。命とは、人間とは、いじめとは、一人ひとりの心に直接問いかけている。	H11
全般	街かどから	24	一般	閑静な住宅街で起こった単車事故をきっかけに、地域社会の人間関係の希薄さや、人々の身勝手さが浮き彫りになる。地域社会での豊かな人間関係を育むためにはどのようにすればよいかを問いかける。	H13
子どもの問題	み～つけた！ (アニメ)	18	小学生以上	クラスの中で「どうせ自分なんか…」と劣等感を持ち、疎外感の中で、自分の言いたいこともはっきり自己主張できない主人公の少女。転校生の少年は、そんな少女とクラスメイトの関わりをもどかしく思い、自らの体験を元に「自分の言葉で表現することの大切さ」を訴える。「生きることの素晴らしさ」や「命の尊さ」について考えてみた作品である。	H15

全般	meet the ヒューマンライツ ～若者たちが 出会った人々～	27	一般	6人の若者たちが、人権問題に取り組んでいる人や当事者の人たちと実際に会い、話を聞き、事実を知り、率直に話し合い、そして、自分の中で、あるいは世間の中で、日常的に無自覚に行われてきた言動に潜む「偏見や差別」を自覚する。この作品は、若者たちの「人権」との出会いと発見を、彼ら自身の言葉で描いたドキュメンタリーである。	H15
高齢者問題	港まちの小さな ネットワーク	51	一般	高齢者の「自立」「参加」「ケア」「自己実現」「尊厳」というテーマに焦点をあてるとともに、看護師志望の高校生と高齢者の心の交流やボランティア活動から広がっていく人々のふれあいを描きながら、すべての世代が理解し合い、支え合うことの大切さを問いかけている。	H12
子どもの問題	みんなのもり (アニメ)	16	幼保	小学校低学年向けに制作したアニメーション。みんなの森に狼がやって来て、子狐と子狸を人質に子ども図書館にたてこもる。子兎と子リスの知らせを受けた村長の熊さんと村の動物たちは…。	H8
全般	メール	54	一般	身に覚えのない中傷や同和地区出身であるなどと、ネット上の掲示板に書き込まれた女子高校生の、精神的な苦痛を題材にしている。いわれのない非難と、一方では親友への自責の念に落ち込む主人公が、同級生やプラスバンドの仲間の応援、両親や周囲の大人たちの支えで、自ら立ち直っていく姿を描いている。	H13
同和問題	メゾン風の丘	53	一般	「風の丘」と名づけられたマンションに、穏やかなマンションライフを求めた住民が入居している。ある夜の理事会での発言を機に起こる人々の心の葛藤を通して、同和問題を考える。	H11
高齢者問題	もう一度 あの浜辺へ	38	一般	4人に1人が65歳以上という超高齢社会を目前にして、老老介護や高齢者に対する虐待が深刻な社会問題となってきている。こうした高齢者を疎外したり、虐待する行為は、どこの家庭でも誰の身にも起こりうる身近な人権問題である。日常生活の中で高齢者の人間としての尊厳を奪うようなことがないか振り返り、高齢者が安心して心豊かな生活を送ることができる社会を築いていくにはどうすればいいのかを考えさせられる作品である。(注：平成15年制作作品のため「認知症」ではなく「痴呆」という言葉が用いられています。)	H19
子どもの問題	桃色のクレヨン (アニメ)	28	一般	いとこの雪との8年ぶりの再会に、期待で胸をふくらませていた美奈子は、雪に知的障害があることを知りとまどう。雪のことを隠そうとして友だちに嘘をつくが、それがわかって、クラスのみんなから仲間はずれにされてしまう。しかし、雪の優しさやふれ、大切なことに気づいていく。他人に対する思いやりやいたわりなど、人権を尊重する上で大切なことに気づく作品である。	H20
子どもの問題	やさしいオオカミ (アニメ)	15	小学生	悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ。実はやさしい心を持ち、本当の強さをもっていた。「いじめ」られ続けた気弱なオオカミが見せたやさしさ…本当の強さ…とは何かということを考えさせる作品である。	H19
全般	山に輝くガイド犬 平治号 (アニメ)	28	小学生	九州の尾根、くじゅう連山で、長年登山者の命を守り、多くの人々に親しまれたガイド犬「平治」の物語。大自然の中で、たくましく生きる「平治」の一生を通じて、子供たちに、生きることの喜び、命の尊さを伝える作品である。	H15
全般	山本家の場合	13	一般	お互いがお互いを一個人として認め合い尊重し合う対等な人間関係を、私たちは築いているか。親子や夫婦の関係、家族のあり方などについて問いかけている。 第一話「男女平等の目」 第二話「仏滅鬼門」 第三話「縁談と釣書」 第四話「親子の友情」の四話構成になっている。	H13
全般	勇気あるホタルと 飛べないホタル (アニメ)	17	小学生	羽がちぢんで生まれたために、飛べないホタルがいた。彼を励まし、助ける仲間のホタルたち。足の不自由な妹のために、ホタル取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれあいを通じて、やさしさと思いやりの大切さを描いた作品である。	H15

全般	たびだち 勇気への出発	52	一般	人との出会いの中で“差別に気づく”こと、“差別を許さない”ことの厳しさ、そして“差別をなくす”営み。すべての人たちの意識が変わっていくための「ほんとうの勇気」とは何かを職場を舞台に問いかけている。	H12
全般	友情のキックオフ！ (アニメ)	27	小学生	小学校のサッカーチームに凄い選手が入って来た。転校してきた誠だ。お陰で練習にも一層力が入るようになったが、日を追うに従って誠に対する太志たちの態度がおかしくなってきた…サッカーと友情をバックにいじめや差別を許さないことを強く訴える。	H9
障害者問題	夢、空高く (アニメ)	41	一般	自治会で行われる凧揚げ大会の準備に多くの人に関わっていく中で、親や子どもの自立の問題、共生し協働することの意義などについて投げかけている。また、障害者問題、同和問題を通して、「人それぞれが自分らしく生きる」とはどういうことかということを考えてみたい作品である。	H14
外国人問題	夢の箱	50	中学生以上	結婚を機に日本で生活することになったタイ出身の女性を中心に、彼女と彼女の家族が出会う様々な場面を通して、一人ひとりが、互いの文化や生活習慣の違いを認め合い、理解していくことの大切さを描いている。	H14
子どもの問題	よーいドン！ (アニメ)	18	小学生	「30人31脚」にクラスで出場することになった子どもたちは、能力や性格の違い、それぞれの抱える問題など、一人ひとりの様々な違いによりぶつかりあう。しかし、皆の力を合わせることで自分の力以上のことができることに気づきはじめる。優勝よりも大きな充実感・達成感を味わう子どもたちの姿を通して、「共生」の素晴らしさを感じさせてくれる作品である。	H16
全般	よっちゃんの 不思議なクレヨン (アニメ)	22	小学生	不思議なクレヨンが、①やさしい心 ②みんなのために奉仕する心 ③ごめんねという反省の心 ④自分だけの間違った欲張りな心 ⑤ありがとうという感謝の心など、いろいろな心を教えてくれる作品である。	H15
男女共同参画	ワーク・ライフ ・バランス ～働きがいのある職場と 生き生きした暮らし～	27	一般	ワーク・ライフ・バランス。それは、多様化する生活スタイルや働き方に対する新たな取り組みだ。充実した暮らしとは何か。働くことへのモチベーションを高めていくには、仕事と生活の調和を図るためにワーク・ライフ・バランスを推進する、組織や個人の取り組みを紹介する。	H19
子どもの問題	ワオくんのはね (アニメ)	17	幼保	いじめられっ子が、自分の気持ちを大切にし、身近な大人に見守られて「いやだ、やめて」と言えるようになり、みんなと仲良く遊べるようになるまでを描いている。	H12
障害者問題	ワシントン・ ポストマーチ	40	中学生以上	生まれたときの病気がもとで脳性マヒになった主人公が、姉の結婚式出席をめぐる親戚による差別という厳しい現実と直面しながらも、友達への優しい心を失わず明るく前向きに生きる姿を描いており、その心情を伝えている。どんな人々も共に暮らせる社会こそノーマルであるというノーマライゼーションの理念を実現するために、何が必要なのか共に考えてみたい作品である。	H15
全般	私自身を見てください	27	一般	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見をドラマと解説部の二部構成で問題提起している。職場の人権研修・ワークショップで活用できるビデオ教材である。	H14
子どもの問題	わたしだけが	15	高学年以上	他校から転校してきて、いわれない差別を受ける小学6年の秋子をめぐる学級の他の児童の様々な対応の姿を描きながら、直接差別する者だけでなく、実は、まわりで差別が悪いと知りながら傍観的な立場をとっている子どもも、差別を支え温存させているのだということを理解させる。	H9
全般	私たちと人権 ～赤ちゃんのささやき～	31	一般	根拠のない風習や慣習にとらわれたり、ホンネとタテマエを使い分けたりしては、真に人権の守られる社会をつくりあげることにはできない。身近な事例を取り上げ、人権について考える作品である。「第一話 出会って」、「第二話 ホンネとタテマエ」、「第三話 ともに生きる」。	H9
全般	「私」のない私 同調と傍観	30	一般	第一部は、ドラマにより、職場の人権侵害に気づいているのに行動できない私を通して問題提起がなされる。第二部では、その問題に対して資料を使い、同調と傍観の背景と、克服するための生き方、自分自身の気持ちや考えを率直に伝える方法について学ぶ。	H16

